

## 2025年3月期 第2四半期(中間期)決算短信(日本基準)(連結)

2024年11月14日

上場会社名 岡本硝子株式会社

上場取引所 東

コード番号 7746 URL <https://ogc-jp.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役会長兼CEO (氏名) 岡本 毅

問合せ先責任者 (役職名) 財務経理部長 (氏名) 風間 卓

TEL 04-7137-3111

半期報告書提出予定日 2024年11月14日

配当支払開始予定日

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト・新聞記者向け)

(百万円未満切捨て)

## 1. 2025年3月期第2四半期(中間期)の連結業績(2024年4月1日～2024年9月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期中間期	2,240	10.0	25		89		81	
2024年3月期中間期	2,035	22.4	79		36		43	

(注) 包括利益 2025年3月期中間期 82百万円 ( %) 2024年3月期中間期 36百万円 ( %)

	1株当たり中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期中間期	3.52	
2024年3月期中間期	1.88	

## (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円	%	百万円	%	%
2025年3月期中間期	7,919		1,611		20.3
2024年3月期	7,987		1,693		21.2

(参考) 自己資本 2025年3月期中間期 1,611百万円 2024年3月期 1,693百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2024年3月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期		0.00		0.00	0.00
2025年3月期(予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日～2025年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,310	15.9	200	223.2	160	9.4	120	17.7	5.16

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無

新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2025年3月期中間期	23,305,543 株	2024年3月期	23,305,543 株
期末自己株式数	2025年3月期中間期	29,870 株	2024年3月期	29,870 株
期中平均株式数(中間期)	2025年3月期中間期	23,275,673 株	2024年3月期中間期	23,275,674 株

第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報等)	10
(重要な後発事象)	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当中間連結会計期間における世界経済は、米国を中心に高インフレに伴う高い金利水準が継続しております。米国では、堅調な個人消費に支えられ景気は緩やかに回復し、ヨーロッパ地域では、インフレ率の低下を背景に景気は持ち直しに向かい、中国では、不動産市況の低迷が続く中で個人消費はおおむね横ばいで推移し、景気の停滞が継続しています。日本では、設備投資に持ち直しの動きが見られるなど景気は緩やかに持ち直しています。

当中間連結会計期間において、プロジェクター需要は、中国、欧米など世界全体として低調で、当社グループのプロジェクター用反射鏡は、売上高が減少しました。その一方で、フライアイレンズは、販売商品構成における高単価品が増加したこと及びプロジェクターメーカー各社の部品在庫水準の正常化が一段落したことにより売上高は増加しました。

また、当中間連結会計期間は、米ドルに対して円高が進んだことにより外貨建ての売掛債権などに係る為替差損が発生しました。

この結果、当中間連結会計期間の連結業績は、売上高2,240百万円(前中間連結会計期間比10.0%増)、経常損失89百万円(前中間連結会計期間の経常損失は36百万円)、親会社株主に帰属する中間純損失81百万円(前中間連結会計期間の親会社株主に帰属する中間純損失は43百万円)となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

#### ①光学事業

当中間連結会計期間の売上高は1,038百万円と前年同期と比べ148百万円(16.8%)の増収となり、セグメント利益(営業利益)は188百万円と前年同期と比べ59百万円(46.4%)の増益となりました。

プロジェクター用反射鏡は、販売数量が前年同期比で3.0%減少し、売上高は1.7%減少いたしました。フライアイレンズは、販売数量が前年同期比18.8%増加し、売上高は27.9%増加いたしました。

#### ②照明事業

当中間連結会計期間の売上高は266百万円と前年同期と比べ10百万円(4.0%)の増収となり、セグメント損失(営業損失)は21百万円と前年同期と比べ36百万円(前中間連結会計期間のセグメント利益は15百万円)の減益となりました。自動車ヘッドライト・フォグライト用カバーガラスの売上高が増加しましたが、外注費の増加によりセグメント利益が減少いたしました。

#### ③機能性薄膜・ガラス事業

当中間連結会計期間の売上高は641百万円と前年同期と比べ32百万円(5.4%)の増収となり、セグメント利益(営業利益)は15百万円と前年同期と比べ23百万円(前中間連結会計期間のセグメント損失は8百万円)の増益となりました。ガラス偏光子の売上高が増加し、ガラス容器への加飾蒸着の売上高が減少しました。

#### ④その他

当中間連結会計期間の売上高は294百万円と前年同期と比べ12百万円(4.5%)の増収となり、セグメント利益(営業利益)は44百万円と前年同期と比べ17百万円(65.2%)の増益となりました。海洋特機の売上高が増加いたしました。

### (2) 財政状態に関する説明

当中間連結会計期間末の総資産は前連結会計年度末と比べて67百万円減少し、7,919百万円となりました。

#### (資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べ246百万円の減少となりました。この主な要因は、商品及び製品が109百万円増加した一方で、受取手形及び売掛金が257百万円減少したことなどによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ178百万円の増加となりました。新潟岡本硝子株式会社での反射鏡生産用ガラス溶融炉の更新投資などにより有形固定資産が187百万円増加したことなどによるものであります。

この結果、資産合計は、前連結会計年度末に比べ67百万円の減少となりました。

#### (負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べ242百万円の増加となりました。この主な要因は、短期借入金が139百万円増加し、1年内返済予定の長期借入金が167百万円増加したことなどによるものであります。

固定負債は前連結会計年度末に比べ227百万円の減少となりました。この主な要因は、長期借入金が221百万円減少したことなどによるものであります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べ14百万円の増加となりました。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比べ82百万円の減少となりました。この主な要因は、親会社株主に帰属する中間純損失81百万円などによるものであります。

なお、当社は、2024年6月29日開催の第78回定時株主総会の決議に基づき、2024年9月6日付で減資の効力が発生し、資本金の額1,495百万円を減少し、その他資本剰余金に振替え、資本準備金の額734百万円を減少し、その他資本剰余金に振替えております。その後、その他資本剰余金の額1,870百万円を減少し、繰越利益剰余金に振替え、欠損補填に充当しております。この結果、当中間連結会計期間末において資本金が1,000百万円、資本剰余金が359百万円、利益剰余金が118百万円となっております。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年5月14日に公表いたしました2025年3月期の連結業績予想から変更はありません。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,676,133	1,646,248
受取手形及び売掛金	1,039,659	781,962
電子記録債権	211,385	160,042
商品及び製品	350,080	459,469
仕掛品	629,965	576,713
原材料及び貯蔵品	161,445	140,039
その他	54,857	112,971
流動資産合計	4,123,528	3,877,447
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,120,977	1,079,447
機械装置及び運搬具(純額)	976,661	1,027,539
土地	764,514	764,514
リース資産(純額)	98,329	84,759
建設仮勘定	620,603	811,476
その他(純額)	37,451	38,116
有形固定資産合計	3,618,537	3,805,853
無形固定資産	24,411	16,177
投資その他の資産		
投資有価証券	34,914	33,837
繰延税金資産	39,207	40,185
その他	147,286	146,490
投資その他の資産合計	221,408	220,513
固定資産合計	3,864,356	4,042,544
資産合計	7,987,884	7,919,991
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	314,756	264,217
短期借入金	1,039,240	1,178,621
1年内返済予定の長期借入金	741,831	909,168
リース債務	22,667	22,013
未払法人税等	31,497	3,817
賞与引当金	54,051	74,437
未払金	218,406	177,007
その他	87,498	123,170
流動負債合計	2,509,950	2,752,453
固定負債		
長期借入金	3,407,918	3,186,322
リース債務	62,977	51,913
繰延税金負債	40,375	40,309
退職給付に係る負債	194,071	196,718
資産除去債務	78,507	80,638
その他	500	500
固定負債合計	3,784,349	3,556,402
負債合計	6,294,299	6,308,855
純資産の部		

株主資本		
資本金	2,495,740	1,000,000
資本剰余金	734,225	359,320
利益剰余金	△1,669,910	118,803
自己株式	△429	△429
株主資本合計	1,559,625	1,477,694
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,019	970
為替換算調整勘定	70,335	73,749
退職給付に係る調整累計額	60,552	58,644
繰延ヘッジ損益	-	28
その他の包括利益累計額合計	133,907	133,392
非支配株主持分	52	48
純資産合計	1,693,584	1,611,136
負債純資産合計	7,987,884	7,919,991

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
売上高	2,035,841	2,240,337
売上原価	1,416,017	1,529,066
売上総利益	619,823	711,271
販売費及び一般管理費		
役員報酬	49,170	53,040
給料及び手当	214,286	223,282
退職給付費用	7,131	4,427
減価償却費	43,404	37,324
旅費及び交通費	14,058	16,348
支払手数料	58,400	66,652
運賃	20,735	21,463
賞与引当金繰入額	20,032	30,432
研究開発費	65,550	62,545
その他	206,232	221,644
販売費及び一般管理費合計	699,000	737,161
営業損失(△)	△79,177	△25,890
営業外収益		
受取利息	1,833	3,171
受取配当金	813	939
為替差益	48,583	-
助成金収入	5,200	173
産業廃棄物売却益	-	6,373
その他	21,528	4,927
営業外収益合計	77,959	15,584
営業外費用		
支払利息	30,416	29,069
為替差損	-	46,671
その他	5,069	3,270
営業外費用合計	35,486	79,011
経常損失(△)	△36,703	△89,316
特別利益		
固定資産売却益	-	299
ゴルフ会員権売却益	-	436
国庫補助金	90,040	-
特別利益合計	90,040	735
特別損失		
固定資産除却損	24	1,089
固定資産圧縮損	88,374	-
特別損失合計	88,398	1,089
税金等調整前中間純損失(△)	△35,062	△89,670
法人税等	8,674	△7,736
中間純損失(△)	△43,736	△81,934
非支配株主に帰属する中間純損失(△)	△3	△3
親会社株主に帰属する中間純損失(△)	△43,732	△81,930



中間連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
中間純損失(△)	△43,736	△81,934
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,370	△2,049
繰延ヘッジ損益	-	28
為替換算調整勘定	8,066	3,413
退職給付に係る調整額	237	△1,907
その他の包括利益合計	6,933	△514
中間包括利益	△36,803	△82,448
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	△36,799	△82,445
非支配株主に係る中間包括利益	△3	△3

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前中間純損失(△)	△35,062	△89,670
減価償却費	138,285	132,347
のれん償却額	4,030	4,030
貸倒引当金の増減額(△は減少)	404	-
賞与引当金の増減額(△は減少)	19,281	20,385
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	1,863	739
受取利息及び受取配当金	△2,647	△4,110
支払利息	30,416	29,069
為替差損益(△は益)	△24,466	32,003
助成金収入	△5,200	△173
補助金収入	△90,040	-
固定資産売却益	-	△299
固定資産除却損	24	1,089
固定資産圧縮損	88,374	-
売上債権の増減額(△は増加)	△94,871	311,390
棚卸資産の増減額(△は増加)	△228,742	△33,474
仕入債務の増減額(△は減少)	△37,694	△53,028
その他の資産の増減額(△は増加)	97,658	△62,285
その他の負債の増減額(△は減少)	52,685	△66,665
小計	△85,701	221,350
利息及び配当金の受取額	2,647	4,110
利息の支払額	△29,084	△30,425
助成金の受取額	4,841	1,886
法人税等の支払額	△8,775	△4,649
営業活動によるキャッシュ・フロー	△116,072	192,272
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△600	△1,200
定期預金の払戻による収入	-	3,600
投資有価証券の取得による支出	△1,699	△1,774
有形固定資産の取得による支出	△323,221	△255,863
有形固定資産の売却による収入	-	299
無形固定資産の取得による支出	△1,225	△5,712
その他の支出	△2,088	△2,101
その他の収入	438	378
投資活動によるキャッシュ・フロー	△328,397	△262,373
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	90,000	139,381
長期借入れによる収入	490,000	480,000
長期借入金の返済による支出	△459,897	△534,258
リース債務の返済による支出	△43,344	△11,716
財務活動によるキャッシュ・フロー	76,758	73,405
現金及び現金同等物に係る換算差額	30,109	△29,589
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△337,601	△26,285
現金及び現金同等物の期首残高	1,531,740	1,665,328
現金及び現金同等物の中間期末残高	1,194,138	1,639,043

(3) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前中間連結会計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

1. 配当に関する事項

該当事項はありません。

2. 株主資本の著しい変動

該当事項はありません。

当中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

1. 配当に関する事項

該当事項はありません。

2. 株主資本の著しい変動

該当事項はありません。

(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当中間連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前中間純利益又は税引前中間純損失に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用しております。

また、一部の連結子会社の税金費用は税引前中間純利益又は税引前中間純損失に前年度の損益計算書における税効果会計適用後の法人税等の負担率を乗じることにより算定しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

(追加情報)

(表示方法の変更)

前連結会計年度において、「流動資産」の「受取手形」に含めていた「電子記録債権」は、金額的重要性が増したため、当中間連結会計期間より独立掲記することとしました。この表示方法の変更を反映させるため、前連結会計年度の連結財務諸表の組替えを行っております。

この結果、前連結会計年度の連結貸借対照表において、「流動資産」の「受取手形」に表示していた261,790千円は「受取手形」50,405千円、「電子記録債権」211,385千円として組替えております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前中間連結会計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	光学事業	照明事業	機能性薄膜・ ガラス事業	計		
売上高						
顧客との契約から生じる 収益	889,182	256,074	608,491	1,753,748	282,092	2,035,841
その他の収益	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	889,182	256,074	608,491	1,753,748	282,092	2,035,841
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	889,182	256,074	608,491	1,753,748	282,092	2,035,841
セグメント利益又は損失 (△)	128,914	15,532	△8,302	136,145	26,951	163,096

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、デンタルミラーなどの医療向けガラス製品、洗濯機用ドアガラスなどを含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と中間連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容  
(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	136,145
「その他」の区分の利益	26,951
全社費用(注)	△242,273
中間連結損益計算書の営業損失(△)	△79,177

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

II 当中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	光学事業	照明事業	機能性薄膜・ ガラス事業	計		
売上高						
顧客との契約から生じる 収益	1,038,121	266,337	641,154	1,945,613	294,724	2,240,337
その他の収益						
外部顧客への売上高	1,038,121	266,337	641,154	1,945,613	294,724	2,240,337
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	1,038,121	266,337	641,154	1,945,613	294,724	2,240,337
セグメント利益又は損失 (△)	188,688	△21,367	15,033	182,354	44,521	226,876

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、デンタルミラーなどの医療向けガラス製品、洗濯機用ドアガラスなどを含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と中間連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容  
(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	182,354
「その他」の区分の利益	44,521
全社費用(注)	△252,766
中間連結損益計算書の営業損失(△)	△25,890

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(重要な後発事象)

(投資有価証券の取得)

当社は、2024年10月25日開催の取締役会において、株式会社U-MAPが発行する新株予約権の引受けを行うことを決議いたしました。

1. 投資の理由

株式会社U-MAPは、名古屋大学 未来材料・システム研究所 宇治原研究室の研究成果である繊維状窒化アルミニウム単結晶である「Thermalnite®」の実装により電子機器の熱問題を解決することを目指すスタートアップ企業です。

株式会社U-MAPは、高品質な「Thermalnite®」の大量合成技術及びその量産体制を確立しております。また、2024年5月には、パートナー企業である当社と共同で、「Thermalnite®」を添加した放熱性が高く、かつ、機械強度の高い放熱基板の量産仕様サンプルの出荷を開始しております

本件を通じて当社は、放熱基板の市場及び技術の動向を把握し、「Thermalnite®」を添加した高機能放熱基板の継続的な開発、製造及び販売を目指します。

2. 投資の概要

本件はJ-KISS型新株予約権の取得による投資となります。

(1) 新株予約権の名称	第1回J-KISS型新株予約権
(2) 振込金額	100,000千円
(3) 振込期日	2024年11月15日(予定)

(注) J-KISS型新株予約権は、投資家が新株予約権の有償取得の形で出資する段階では、転換時に取得できる株式数

が決まっていない転換価格調整型新株予約権です。その後の投資ラウンドで株式発行による資金調達をする際に、新株予約権を取得している投資家が、一定の割り引かれた転換価額で株式を取得することとなります。